

社会科学習指導案

指導学年：小学校 第6学年

指導者：担任教諭（T1）

栄養教諭（T2）

1 単元名 「新しい日本，平和な日本へ」 ～お好み焼きで立ち上がった広島の人々！～

2 単元について

(1) 単元観

本単元は，小学校学習指導要領（平成29年告示）の次の内容に基づき設定した。

第6学年の内容

(2) 我が国の歴史上の主な事象について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際，我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに，大まかな歴史を理解するとともに，関連する先人の業績，優れた文化遺産を理解すること。

（イ） 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

（ロ） 世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，我が国の歴史上の主な事象を捉え，我が国の歴史の展開を考えるとともに，歴史を学ぶ意味を考え，表現すること。

歴史上の主な事象を手掛かりに，第二次世界大戦後，人々がどのように復興に向けて努力や工夫を重ねていったのかを児童が考えることができるよう，本単元を設定した。

また，戦後の混乱の中で生まれた「お好み焼き」を取り上げることによって，児童に身近な郷土料理を通して，戦後の広島の様子や当時の人々がどうやって生きる希望を見いだしていったのかを考えさせることができるものである。

(2) 児童観

児童はこれまで，社会的事象の変化の中での人々の生活や社会に対する意識の変化など，多くの資料から読み取る活動を行ってきた。「戦争と人々の暮らし」では，戦争の経緯や背景について知り，多くの被害者が出たこと，人々の生活が苦しくなっていったことなどを学んだ。そして，戦争の悲惨さや人々の苦労について自分なりに感じ取り，当時の人々の思いに迫ることができた。

また，児童はこれまでに教科やあらゆる場面での食の指導を通して，生活の中で「食」がいかに大切であるかを理解している児童も多い。さらに，地域に伝わる食文化や，広島県の自然を生かした地場産物や郷土料理についても理解している。

(3) 指導観

本時の指導に当たっては，まず当時の人々が戦後復興に向けて努力していったことを認識させていく。広島戦後復興について，「食」という視点で捉えてみると，「お好み焼き」の存在が指摘されることがある。

広島の「お好み焼き」の歴史について知った後、「戦後間もないお好み焼き」と「現在のお好み焼き」を比較することを通して、戦後の広島の人々が、どのように、工夫や努力を重ね、生きる希望を見いだしていったのかを考えさせたい。

当時の生活の様子を知るために、事前課題としてインタビューを行ったり、資料を活用したりする手立てを講じ、自分の考えを深めるようにしていきたい。

また、学級担任と栄養教諭とのチームティーチングによる指導を行い、当時食べられていたと思われる「お好み焼き」を児童に試食させ、当時の食糧事情について実感を伴って理解させていきたい。学習した内容について話し合う場面を設定する際、自分の考えをより明確にし、深めていくために、アドバイスやきめ細かい指導を行っていきたい。そうすることで、社会科で学んだことを自分のこととして捉え、これからの日本を担う国民の一人としての自覚をもち生活できるようにしていきたい。

3 指導計画

単元計画（全9時間 本時2/9時）

時	学習内容
1	終戦直後の資料から、気づいたことを話し合う。
2	戦後の日本は、人々のくふうや努力によって、どのように変わっていったのかをとらえる。
3	新しい国づくりのための改革について調べ、日本は日本国憲法を定め、平和で民主的な国家をめざしたことをとらえる。
4	サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約について調べ、東西冷戦の対立を深めていくなかで、アメリカと日本の関係が強化されていったことに気付く。
5	発展した日本の経済について調べ、経済発展の背景には、人々の努力や日本の高い技術力があつたことに気付く。
6	経済の発展に伴い、人々のくらしがどのように変化してきたのか調べ、便利な世の中になってきたこととともに社会保障が充実してきたことに気付く。
7	国際社会と日本との関わりについて調べ、経済が発展するとともに国際社会に尽力し続けてきた日本が先進国の役割を果たしてきたことに気付く。
8	戦後発展してきた日本に残されている課題について調べ、これから未来に向けて期待される自分たちの役割について考える。
9	戦後の日本の様子について学習したことを図にまとめ、話し合うことで、日本が経済的にも国際的にも発展、進歩したことについて、自分の考えを明確にしたり、深めたりする。

4 本時の目標

終戦後の厳しい生活が強いられる中、必死に生きていこうとしていた人々の暮らしと思いについて考えることができる。【思考・判断・表現】

5 食育の視点

終戦直後に広島で生まれたお好み焼きを通して、当時の食生活に関心を持ち、厳しい暮らしの中でも復興を目指した人々の思いを考え、食文化を継承していこうとする態度を育てる。【食文化】

6 準備物（教材・資料）

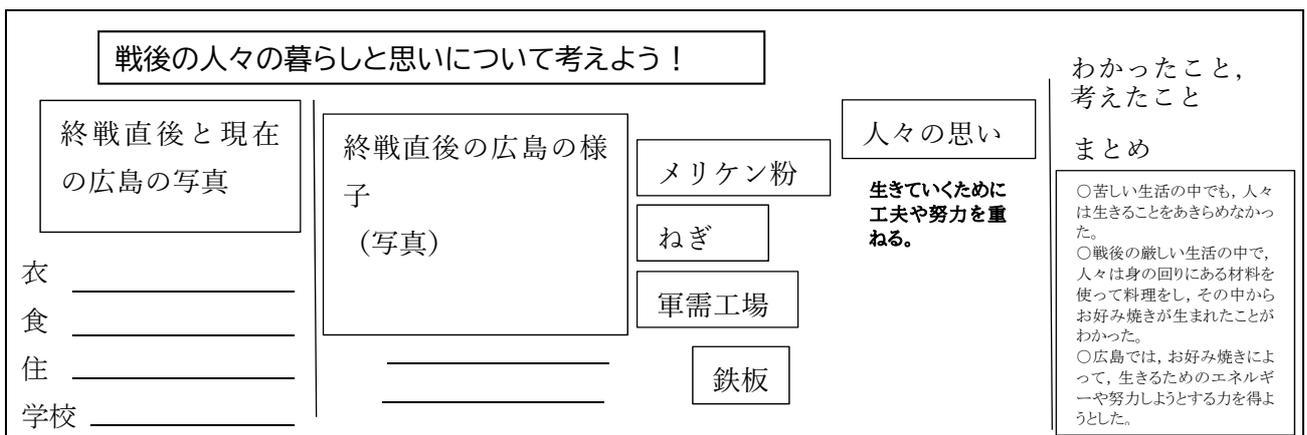
終戦直後と現在の写真，戦後食べられていたお好み焼き（小麦粉・ねぎ），タブレット

7 本時の展開

	学習活動 ・予想される児童の反応（行動・発言等）	◇指導上の留意点 ◆支援を要する児童への手立て		☆評価規準 （評価方法）
		T 1	T 2	
導入	<p>1 前時の学習から，戦後間もない生活について振り返る。 ・物も草木も何もない状態だったね。</p> <p>2 本時のめあてを知る。</p>	<p>◇教科書や資料から，戦後の生活について思い出させる。</p>	<p>◇終戦直後と現在の広島の写真を提示する。</p>	
展開	<p>3 広島県の終戦直後の人々の暮らしについて考える。 ・今の生活からは想像できない状態だった。 ・人々の生きる力はすごい。</p> <p>4 広島でお好み焼きが戦後の人々の暮らしの中から広まったことを知る。</p> <p>5 戦後食べられていたお好み焼きの原型を試食する。 一銭洋食 ・今のお好み焼きとは全然違う。 ・食事がこれだけでは，おなかが空いてしまう。</p>	<p>◇戦争が終わっても人々の暮らしは苦しかったことをおさえる。</p> <p>◇タブレットで写真を見せ，現在の生活と比較させながら，めざましい復興をとげていったことに着目させる。 衣 住 学校 ◇その中に「食」もあったことに気付かせる。 食</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><一銭洋食> 軍事工場の廃材として鉄板を手に入れ，当時手に入った小麦粉で薄い衣を作り，道端でも生えるねぎを散らして食べた。</p> </div>	<p>◆着目する点が変わるよう，個別に助言する。</p> <p>◇戦後の食をイメージさせる。 ◇当時手に入った物を想像させ，作られたものを考えさせる。 *アメリカからの援助物資（小麦粉，脱脂粉乳…学校給食との関連に触れる） *軍需工場 ◇材料を説明し，今のお好み焼きと比較させる。</p>	

	<p>・少しでもおなかの足しになるよう、考えたんだ。</p> <p>6 当時の人々がどのような思いで生活していたのかを考え、交流する。</p> <p>・早く元の生活に戻りたい。</p> <p>・手に入るものを工夫して作られたものが「お好み焼き」なんだ。</p> <p>・戦地から帰って来た家族が、すぐにわかるよう目印として自分の名前を屋号にしたんだ。</p> <p>・生きるために人々は、工夫や努力をしてよりよい生活を作っていたんだ。</p>	<p>◇原爆ドームとバラック（戦後建てられた仮説の建物）で営まれた店の写真の資料等から、お好み焼きを通じた当時の人々の生活について考えさせる。（タブレットの活用）</p> <p>◇苦しい生活の中でも人々は生きることをあきらめなかったことに気付かせる。</p>	<p>◇広島でお好み焼きが広まった理由について知らせる。</p> <p>＊お好み焼きの屋号の秘密（女性の名前が多い）</p> <p>◇当時の社会的背景を示しながら、広島の人々は、お好み焼きに願いを託し、「食」が戦後の復興の一つに役だっていることに気付かせる。（原動力）</p>	
<p>終末</p>	<p>6 学習の振り返りをする。</p>	<p>◇ノートにまとめるための視点を示す。</p> <p>◇学習を通してわかったこと、考えたことをノートにまとめ、発表する。</p>		<p>☆苦しい生活の中で生きようとした人々の思いと努力について考えることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 (児童の発言・ノート)</p>
<p>児童のまとめ例</p> <p>終戦後の苦しい生活の中でも、人々は、身の回りにあった材料を使ってお好み焼きを作り、それが、生きるための原動力になったんだね。</p>				

8 板書計画



9 他教科等との関連

【社会科】広島県の人々の暮らし（4年）

【国語科】「ふるさとの食」を伝えよう（4年）

【家庭との連携】学級通信，食育通信，ホームページ等で家庭にも取組内容を知らせる。

【学校給食】『お好み焼き』を給食で提供する。